

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・地域住民が高齢となり、介護保険のサービス利用には至らないものの生活に支障が出たり、地域の活動への参加が難しくなる場合が多く見受けられます。認知症への理解や高齢者の見守り・役割の持てる活動を地域住民・地域支援者・専門職と共有し、課題解決に向けて協働で取り組みます。

・地域との繋がりを望まない高齢者も少なくありません。高齢になっても出来るだけ自立した生活がおくれるよう、介護予防を含めた健康づくりを支援すると共に、地域活動、通いの場 への参加がつながりのきっかけとなるよう努めます。

・新築マンションの増加や生活の利便性に伴い、子育て世代や単身高齢者の転入が増えています。誰もが住みやすい地域づくりを目標に、地域団体、関係機関、企業等と連携を図り、既存の地域活動の支援や新たな活動の創設を目指します。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症サポーター養成講座の開催を通じて、認知症になっても住みやすい街作りに取り組む。地域の中での開催を自治会や町内会に向けて発信していく。エリア内のキャラバンメイト連絡会も継続開催していく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自立支援に資するケアマネジメントを実践できるように、自立支援型地域ケア会議を行う。主マネ連絡会でのスーパーバイズ研修の後方支援を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	介護予防ケアマネジメントにおけるインフォーマルの利用に関して、ケアマネージャーへの情報提供を行い、多様な社会資源が利用できるよう支援する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ICTの活用等あらゆる媒体を活用し様々な世代へ向けた発信し情報提供に努める。子育て支援、介護予防、交流を目的とした事業を開催し、つながり作りに取り組む。地域団体がケアプラザ及び福祉施設で活動し、福祉活動を積極的にするよう情報提供、場の提供を行い、福祉・保健活動への発展を目指す。ボランティア講座を定期的で開催し、よこはまシニアボランティアの普及に努め、新規ボランティアの獲得に努める。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域活動の継続・活性化に向け、住民主体の地域づくりを目指す。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、各地区や町内会・自治会での取り組み、シニアクラブ、地域支援者との連携に努めるとともに、地域ケア会議、協議体等で抽出した課題に対し、関係機関と必要な社会資源の取り組みを行う。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント